

## 運行形態別のメリットとデメリット

	運行形態	運行地域	メリット	デメリット
デ マ ン ド バ ス 交 通	デマンドバスは、利用者が電話で利用時間帯と目的地の予約を行い、車は乗り合う人を時間に合わせて順に迎えに行き、全ての人を目的地まで送迎する。路線バスとは異なり、利用者の予約に応じて運行する形態で、事前の登録が必要となる。	市内全地域を対象。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予約が入った停車地のみを経由するため、需要を面的にカバーできる。</li> <li>○事前予約により、利用者がある場合のみ運行する。</li> <li>○バス停まで歩く必要がなくなる。</li> <li>○戸口から戸口への輸送が可能で、高齢者等に優しい輸送手段である。</li> <li>○行き先、需要が散在している地域に対応しやすい仕組みである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者にとって予約が必要である（高齢者の場合抵抗感を持たれる可能性がある）。</li> <li>○乗降地の異なる利用者を乗り合いで輸送することから、停車地の到達時刻が変化する。</li> <li>○車両が小さいことから、一度に乗車できる人数が制限される。</li> <li>○利用に際して、事前登録が必要となる。</li> <li>○特に高齢者においては、決まった乗降ポイントがないことから、仕組みが理解されにくい。</li> </ul>
コ ミ ュ ニ テ ィ バ ス	一般乗り合い型で、運行経路(ルート)や時刻表(ダイヤ)に基づいて運行する。	決まった運行経路に基づいた箇所を運行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な交通機関をつなぎ合わせる役割を担うことができる。</li> <li>○予約がいらない</li> <li>○バス停まで行けば必ず運行している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者がいなくても運行経費がかかる。</li> </ul>